

速報

新中 3 生必見!!

令和 5 年度

新潟県公立高校入試 問題分析



**令和 5 年度の受験生が
受験した2022年度新潟県
統一模試で類似問題が多数
出題されていました!!**

速報としてご紹介するのは、
類似問題の一例です。

入試問題分析

国語

新しい傾向の問題として、二人の人物の会話文から、本来の意味と異なる遣い方をされる言葉を選択する問題が出題されました。（大問〔二〕(五)）本来は「最も興味深いところ」という意味の言葉を、「物事の終わりの段階」という意味だと思い使っていた、という内容でした。本来の意味を知っていればそのような意味を持つ言葉として正答の「佳境」を選択できますが、それとは異なる意味で覚えている受験者の多くは他の選択肢の「大詰め」と迷ったかもしれません。いずれの場合も、二つの文をよく比較すれば正答を導くことができます。このような複数の人物の会話文を検討する問題は、昨年度の古文でも出題されています。※なお、大問〔四〕の文読解問題で採用されたハナムラチカヒロ『まなざしの革命』は、今年度の福井県立高校、神奈川県立高校、中央大学、立教大学の入試でも採用されています。

数学

大問数は昨年と同じ5題となっていました。なお、直近2年で見られた会話文形式の問題がなくなり、今年の〔4〕では問題の冒頭で説明された手順したがって操作を繰り返し、その中の規則性を見つけて解答していく問題に変わりました。ここは、手順に沿って該当する数値を書き出し、その結果から規則性を見つけ解答していくという、手間がかかりかつ難解な問題でした。

また、証明が小設問形式になっていて前年から少し変化はあるものの、その他の問題は、昨年度とほぼ同じ形式の出題となっていました。

〔1〕〔2〕各設問は比較的取り組みやすい内容構成となっていました。大問〔3〕～〔5〕では各々後半の設問内容で難易度が高くなっており、平均点は昨年と比較すると低くなると予測します。

英語

昨年度以上に全体的な難化が見られました。特に、グラフを活用した資料読取り問題、メール2通とWebサイトの記事が載った長文読解問題は、新規の出題形式であることに苦戦しながらの受験であったと思います。そのような中で、昨年同様の形式で出題された問題も見られました。当会模試を継続的に受験していた受験生にとって有利に働いたのではないのでしょうか。

社会

今年度の入試問題における主な特徴は、2つにまとめられると思います。1つ目は、実践重視型の出題形式であることです。昨年度同様、図表を読み取って解答する問題が多く出題されました。また、記述式の問題数と配点が増加しました。これらのことから、知識偏重型の出題傾向から、「資料活用」・「表現」という実践的な出題形式への移行がより進んだと思われます。2つ目に、国際的な課題が問題内容として取り扱われたことです。現代社会を生きる受験生にとって、自国だけではなく、世界全体として発生している問題に注目すべきといえるでしょう。昨今では、「安全保障」「環境問題」関連の出来事がテレビや新聞で報道されることも多く、中学生のうちから興味・関心をもつことが求められていると思われます。

理科

昨年度と同様で、見慣れた問題が多く全体的に取り組むやすい問題でした。昨年からの特徴として〔1〕が各分野からの小説問形式で生物・地学・物理・科学分野から基礎的な問題の出題でした。また、〔7〕の問題では、実験結果についての会話文を読みなが知識を整理していく問題となっていました。実験結果からだけでなく、実験器具の操作方法や目的を理解して解いていくという、思考力・判断力・表現力を測る問題となってきました。今後もこのような傾向がさらに深まっていくものと思われます。

国語

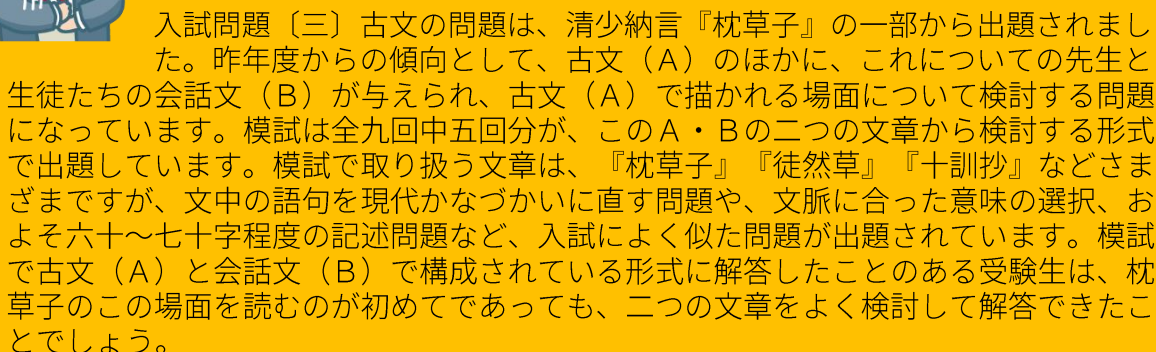
【公立高校入試】

大問三

[illegible]

題材文は新聞等でご確認ください。

内容は新聞等でご確認ください。



数 学

データの活用の問題で類似問題が出題されました。

【新潟県統一模試】

【公立高校入試】

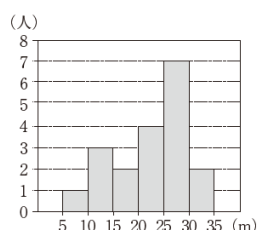
2022年度第9回大問1

大問1 (8)

- (8) 右の図は、ある中学校の3年生男子19人のハンドボール投げの記録をヒストグラムに表したものであり、例えば、5m以上10m未満の人数は1人であることがわかる。このとき、次の①、②の問いに答えなさい。

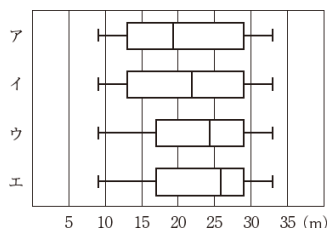
① 25m以上30m未満の階級の相対度数を、小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで答えなさい。

② この19人のデータを箱ひげ図に表したものとして最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書きなさい。



- (8) 右の図は、ある家庭で購入した卵40個の重さを1個ずつはかり、ヒストグラムに表したものである。このヒストグラムに対応する箱ひげ図として正しいものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書きなさい。ただし、階級は52g以上54g未満のように、2gごとの区間に区切っている。

図は、新聞などをご確認ください。



データの活用分野の入試問題はそれほど難易度は高くなく、当会模試を複数回受験して多くの問題に慣れた学生は取り組みやすかったと思われます。特に第9回模試の、「ヒストグラムから箱ひげ図を求める」という問題の形式と一致しており、出題が似ていました。

英語

自由英作文の問題で類似問題が出題されました。

【新潟県統一模試】

2022年度第6回大問4

- (6) あなたがヒデキ(Hideki)とステファンの同級生だとしたら、彼らの日記の内容に対して、どのようなコメントを書きますか。コメントを書く相手として、ヒデキとステファンのどちらかを選び、解答用紙の〔 〕の中に、HidekiかStefanを書き、それに続けて、□の中に、4行以内の英文でコメントを書きなさい。ただし、***の部分には、あなたの名前が書かれているものとします。

2022年度第5回大問4

- (6) あなたがシゲル(Shigeru)とカナ(Kana)のスピーチを聞きました。あなたはスピーチに対して、どのようなコメントを書きますか。コメントを書く相手として、シゲルかカナのどちらかを選び、解答用紙の〔 〕の中に、Shigeruかkanaを書き、それに続けて、□の中に、4行以内の英文でコメントを書きなさい。ただし、***の部分には、あなたの名前が書かれているものとします。



自由英作文の問題です。長文で展開されている内容を踏まえ、登場人物に対するコメントを英文で記述する問題が出題されました。

自由度の高い英作文の作成能力を養ってきた受験生は解答できたでしょう。

【公立高校入試】

大問4 (6)

- (6) 下線部分Eについて、ヒカリ(Hikari)になったつもりで、フレッド(Fred)に対するメールを、解答用紙の“Hello, Fred. Thank you for your e-mail and the interesting article.”に続けて、□の中に、4行以内の英文で書きなさい。

社会

入試問題〔1〕（4）、〔4〕（1）、〔5〕（2）①で

類似問題が出題されました。

【新潟県統一模試】

2022年度第2回大問6（2）

（2）次のX～Zは、下線部bの動きの中で起こったできごとである。年代の古い順に並べたものを、下のア～カから一つ選び、その符号を書きなさい。

- X 薩摩藩と長州藩が同盟を結んだ。
Y アメリカとの間に日米修好通商条約が結ばれた。
Z 4か国の連合艦隊が下関（山口県）の砲台を攻撃した。
ア $X \rightarrow Y \rightarrow Z$ イ $X \rightarrow Z \rightarrow Y$
ウ $Y \rightarrow X \rightarrow Z$ エ $Y \rightarrow Z \rightarrow X$
オ $Z \rightarrow X \rightarrow Y$ カ $Z \rightarrow Y \rightarrow X$

動き	結果や影響
開国	b日本は条約を結んで開国したが、長州藩や薩摩藩が討幕の動きを強め、江戸幕府は滅亡した。

【公立高校入試】

大問4（1）②

（1）次のX～Zは、年表中のAの時期のできごとである。年代の古い順に並べたものとして、正しいものを、下のア～カから一つ選び、その符号を書きなさい。

- X 大政奉還が行われる。
Y 四国連合艦隊が下関を砲撃する。
Z 薩長同盟が成立する。
ア $X \rightarrow Y \rightarrow Z$ イ $X \rightarrow Z \rightarrow Y$
ウ $Y \rightarrow X \rightarrow Z$ エ $Y \rightarrow Z \rightarrow X$
オ $Z \rightarrow X \rightarrow Y$ カ $Z \rightarrow Y \rightarrow X$

※年表は新聞などをご確認ください。
Aの時期は、1858～1868年です。



〔4〕（1）では、新潟県統一模試第2回問題と類似していました。開国後の江戸幕府滅亡までの流れを理解していれば答えが分かる問題でした。ノルウェーの自然環境に関する問題が、第2回問題と類似していました。「フィヨルド」、「白夜」の特徴を理解していれば答えが分かる問題でした。〔5〕（2）①の三権分立に関する問題が、第9回問題と類似していました。三権の相互の抑制機能を理解していれば答えが分かる問題でした。

理 科

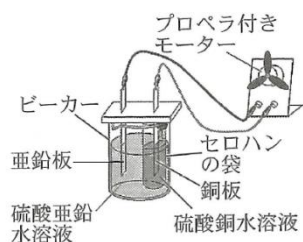
入試問題大問〔2〕、〔6〕は新潟県統一模試と酷似していました。
他も類似問題が多数出題。

【新潟県統一模試】

2022年度第8回大問2（5）

（5）実験2でセロハンの袋は、水溶液中の陽イオンと陰イオンのかたよりを防ぎ、電氣的に安定させることを目的に使われている。セロハンを通して起こっていることについて述べた文として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 亜鉛イオンと硫酸イオンが、硫酸銅水溶液側に移動する。
- イ 銅イオンと硫酸イオンが、硫酸亜鉛水溶液側に移動する。
- ウ 亜鉛イオンが硫酸銅水溶液側に、硫酸イオンが硫酸亜鉛水溶液側に移動する。
- エ 硫酸イオンが硫酸銅水溶液側に、銅イオンが硫酸亜鉛水溶液側に移動する。



【公立高校入試】

大問6（3）

（3）実験1、2で用いた袋状のセロハンのはたらきについて述べた文として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 2種類の水溶液を分けて、水溶液中のイオンが通過できないようにする。
- イ 2種類の水溶液を分けて、水溶液中の陽イオンだけが通過できないようにする。
- ウ 2種類の水溶液を分けるが、水溶液中のイオンは通過できるようにする。
- エ 2種類の水溶液を分けるが、水溶液中の陽イオンだけは通過できるようにする。

※実験図は新聞などをご確認ください。

入試問題〔6〕(3)のセロファンのはたらきは、第8回模試〔2〕(5)と酷似していました。入試問題〔2〕たまねぎの根を観察する実験の問題が、根の先端の成長や細胞分裂の起こる順番を問う内容や、同一問題の中で顕微鏡の使い方を問うところなど、第5回模試〔7〕とほぼ同じ内容でした。